

アクションリスト	関連URL
販売する商品の準備方法を以下から選ぼう	
・仕入れ	第1回「商品を準備する方法を知ろう」仕入れ商品
・オリジナル	第1回「商品を準備する方法を知ろう」オリジナル商品
どんなジャンルのどんな商品を売るのが、下記の観点でいくつか候補を出してみよう。	第3回「販売する商品をざっくり決めよう」
・思い入れのあるもの	
・リスクが低く売れやすい物。	おすすめの商品リストはこちら
候補にあげた商品が”売れそうか”どうか、Instagram上で以下の手順でリサーチしよう	第4回「リサーチをしよう」
①まずは、インスタで販売商品に付けられそうなハッシュタグで検索してみよう	
②検索したワードのハッシュタグの件数をメモ	
③そのアカウントの集客の工夫をチェック	
④商品の価格相場を確認	
候補にあげた商品について、すでに扱っているショップについて、下記ポイントで調査しよう	第4回「リサーチをしよう」
・SNS: 頻繁に更新されているか、フォロワー数が多いか	
・レビュー件数: ショップ内でレビュー投稿がひんぱんにおこなわれているか	
・ブランディング: どのようなコンセプトで、どのような商品を扱っているか	
・商品: どんな商品を扱っていて、どこに魅力があるか	
・ショップのデザイン: 魅力を最大限に引き出す工夫はどこにあるか	
・商品写真: 明るさや背景、商品との距離などはどうなっているか	
・ネーミング: どういう意図で付けられているか	
・インスタ: フォロワーを増やすために、どんな工夫をしているか	
・番外編: Facebookの「 広告ライブラリ 」というサービスを活用して、広告を出しているかもチェックしてみよう	
候補にあげた商品について仕入れ先を調査して、	第4回「リサーチをしよう」
・仕入れられるかどうか	
・商品の条件と自分の予算とあっているか	
を下記のポイントで確認しよう	
・仕入れたい商品があるか	
・サンプルを仕入れることができるか	
・希望のデザインの商品か	
・仕入れ値がどれくらいか	
・値段交渉が可能か	
・最低仕入れ個数がどれくらいか	
・仕入れ先の評価に問題はないか	
ショップのコンセプトを下記の手順で決めよう	第5回「ショップのコンセプトを決めよう」
①ターゲット設定	
②ターゲットが嫌うことを考える	
③ターゲットがもつ「理想・願望」を考える	
④具体的な商品と「ビジュアルやターゲットを紐づける」	
⑤各要素をまとめたものを「コンセプト」として言語化する	
下記の発想法を参考にして、ブランド名を決めよう	第6回「ブランド名を決めよう」
①連結法 2つ以上の言葉をつなげる、いわゆる「造語」によるネーミングの方法	
②擬人法 商品やサービスを擬人化してブランド名をつける方法	
③語頭・語尾法 ある特定のキーワードを選択した後、そのキーワードの頭文字や語尾を省略したり変形したりして新しい言葉を作る方法	
④オノマトペ法 「わんわん」「パラパラ」「ゴロゴロ」など、自然界に存在する音や物事の状態、人の感情、動物の鳴き声などを模倣した擬態語・擬音語をつかう方法	

⑤ダジャレ法 ダジャレを使ってブランド名をつける方法	
⑥アルファベット表記法 日本語の言葉をそのままアルファベットで表記する方法	